

月の雫 (Lyric ; Kuma)

気紛れは いつまでも 続くわけではない
僕と君はもうかなり遠くにいる
届けない気持ちは 誰のせいでもないけど
真夜中の郵便ポストに 押し付けた
夜が青い囁きで誘う
そして君を さらっていく
壊れたオルガンのように
僕はいつも歌ってた
月の雫が こぼれないうちに 帰ろう

気紛れはいつまで 続けるのだろう
僕と君はいつもすれ違ってた
もどかしい痛みは 消えてはくれないけれど
このまましばらく 歩いてく
夜のアーケードの向こうに
靴音がコツコツひびく
二度と戻らない ぬくもりが
僕をひとりぼっちにする
月の雫が こぼれないうちに 帰ろう

夜が青い囁きで誘う
そして君を さらっていく
壊れたオルガンのように
僕はいつも歌ってたー
月のしずくが こぼれないうちに 帰ろう